

JPEC World Report

中国 2026 年 6 月版

ハイライト

◇4 月の市況概況 ※5 月の統計データは 6 月末に更新されるため、次号にて掲載予定

- 原油は、生産量約 1,800 万トン(前月比 100 万トン減)、輸入量は 3,800 万トン(前月比 1,000 万トン減)。輸入依存度が高い中でも、輸入量は大きく減少。
- 石油精製品(ディーゼル・ガソリン・ケロシン・燃料油)は、年間を通じ安定した生産水準を維持している。ナフサは輸入量の減少が続く。
- 製油所稼働率は、国営石油会社が通年 80%前後、地方製油所は春先 50%・冬場 60%超。4 月はいずれの稼働率も約 5%減少。

◇5 月の業界動向

- OGX の加速**：風力・太陽光やSAF、水素・メタノール等の代替エネルギー導入が急進。また、廃プラリサイクルや CCUS、電化エチレン生産による産業の脱炭素化も活発であるほか、AI を活用したスマート操業も加わり、国を挙げた取り組みがさらに加速している。
- 生産・技術革新**：独自の廃プラ転換や電化エチレン生産等による製造技術の環境対応を推進。AI 導入に伴うコスト増には、生成 AI による作業量の削減や損害回避モデル等の効率化策で対応。併せて、石炭由来エチレングリコール事業等への投資により、資源の多様化と供給網の強化を図っている。
- 第三国市場展開**：中東やアフリカでの油田開発や燃料輸出等従来の化石燃料分野で第三国市場展開を牽引。岸上風力発電で初の中国主導となる国際規格を立案する等、新エネ分野でも技術力を誇り、バイオ燃料輸出や南米でのグリーン水素案件受注も進む。海外市場の開拓を強力に進めている。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。

お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >